

# 計量制度国際機構分担金

平成30年度予算額 **0.1億円 (0.1億円)**

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 国際法定計量機関（OIML）の活動に必要な経費のうち、日本に課せられた分担金を負担します。
- OIMLは、計量器に係る行政上・技術上の諸課題を国際的に解決するための国際機関です。計量器の性能・技術に関する基準を定めた勧告を策定しています。
- OIML総会や関係委員会等への積極的な参加、提案を行い、勧告の改訂・策定を通じて、我が国法定計量制度の国際標準化を推進します。

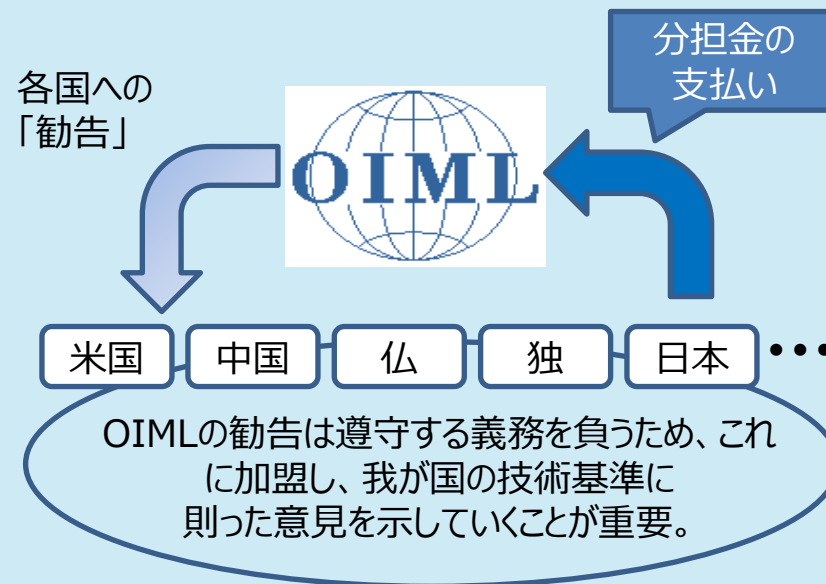
### 成果目標

- 昭和35年度からの事業であり、国際法定計量機関の勧告等の策定において、我が国の法定計量制度の国際標準化の推進に寄与することを目指します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ



※我が国は1961年から加盟。

### （参考）2016年度の「勧告」等の採択等の状況

採択状況	主な検討案件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・包装商品（内容量）</li> <li>・穀物及び油脂種子の蛋白質計</li> <li>・穀物及び油脂種子の水分析</li> <li>・標準黒体放射源</li> </ul> <p>計4件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水素燃料計量システム（日本提案）</li> <li>・充てん用自動はかり</li> <li>・ロードセル</li> <li>・OIML証明書制度等</li> </ul>